

注目のニューカマーに加え、過去の列伝出演者参戦のスペシャルバージョン！

『スペースシャワー列伝 ～第九十五巻 瞬刻(しゅんこく)の宴～』

日本最大の音楽専門チャンネル「スペースシャワーTV」イチオシの新人アーティストイベント、『スペースシャワー列伝』。この第95回が、9月26日(木)にShibuya WWWにて開催されました。
今年で13年目を迎え、100巻に向けてのカウントダウンがスタート！今回は、キュウソネコカミ、SHISHAMO、ircle、テスラは泣かない。など注目のニューカマーの他に、過去の列伝出演アーティストも参戦。公開インタビューも行われるなど、スペシャルバージョンで催され、100巻へ向けてますますの盛り上がりを見せました。

詳しくは次ページのライブレポートをご覧ください。

なお、こちらの模様は10/26(土) 25:00～スペースシャワーTVにて特別番組としてオンエア致します。

つきましてはライブレポート、セットリスト、およびライブ写真素材をお送りいたしますので、是非貴媒体で取上げていただけたら幸いです。ご検討の程、何卒宜しくお願い致します。



SHISHAMO



佐藤千明、津野米咲(赤い公園)



ircle



金廣真悟(グッドモーニングアメリカ)



テスラは泣かない。



キュウソネコカミ

Photo by 上飯坂一

《イベント概要》

スペースシャワー列伝 ～第九十五巻 瞬刻(しゅんこく)の宴～

日時:9月26日(木)開場18:00 開演18:30

場所: Shibuya WWW

【出演】キュウソネコカミ、SHISHAMO、ircle、テスラは泣かない。

【アコースティック出演】赤い公園(佐藤千明・津野米咲)、グッドモーニングアメリカ(金廣真悟)

URL: www.spaceshowertv.com/retsuden

イベントオフィシャルTwitter: @retsuden_sstv

主催・企画・制作スペースシャワーTV

**Thank You!!
SOLD OUT**

このイベントの模様をスペースシャワーTVで特別番組としてオンエア！

番組タイトル:スペースシャワー列伝 ～第九十五巻 瞬刻(しゅんこく)の宴～

初回放送:10/26(土) 25:00～26:00 リピート:11月予定

＜本件に関するお問い合わせ先＞

株式会社スペースシャワーネットワーク コンテンツプロモーション部

TEL:03-3585-3544 FAX:03-3585-3215 <http://www.spaceshowertv.com/>

担当:小林 郁詠 080-6627-2313 ikobayashi@spaceshower.net

スペースシャワー列伝 ～第九十五巻 瞬刻(しゅんこく)の宴～

◆オフィシャルライブレポート

すべてのロックファンに向けて、スペースシャワーTVが自信をもってレコメンドするニューカマーのバンドが集うライブイベント『スペースシャワー列伝』。9月26日(木)にShibuya WWWで開催されたスペースシャワー列伝 ～第九十五巻 瞬刻(しゅんこく)の宴～には、キュウソネコカミ、SHISHAMO、ircle、テスラは泣かない。という、バラエティーに富んだ注目のニューカマー4組がラインナップされた。さらに、今回から記念すべき列伝100回目に向けたカウントダウン企画がスタート。BAR STAGEでは、過去の列伝に名を連ねた赤い公園から佐藤千明と津野米咲、グッドモーニングアメリカから金廣真悟がアコースティックライブを披露した。また、同じくBAR STAGEにて出演者への公開インタビューも行われた。

トップバッターを飾ったのは、今春に高校を卒業したばかりの3ピースガールズバンド、SHISHAMO。1曲目「僕に彼女ができたんだ」を皮切りに、フロアにフレッシュな風を吹き込むようなライブを展開。淡い恋心を特別なドラマとして映し出すリリック、ナチュラルなポップネスと中毒性に満ちたメロディーでオーディエンスを魅了した。

続いて、BAR STAGEに佐藤千明と津野米咲(赤い公園)が登場。佐藤が“倅田來未のものまねをする、やしろ優”を完コピしたMCで笑いをいざなったかと思えば、曲に入った途端にキーボードの津野としっかり息を合わせ、オーディエンスを惹きつけて離さない歌の力を見せつけた。特にただならぬ緊張感をほらんだラストの「Mat Blue」は圧巻だった。

メインフロアの2番手はircle。テクニカルなプレイとストレートなエモーションが融合したサウンド、“折れない意思”をまざまざと示すロックソングの求心力でフロアの熱を一気に引き上げてみせた。1曲目「呼吸を忘れて」からラスト「本当の事」まであっという間に駆け抜けた、まさに完全燃焼のライブだった。

アコースティックギターを手にリラックスしたムードでBAR STAGEに現れた金廣真悟(グッドモーニングアメリカ)。「未来へのスパイラル」と「餞の詩」というバンドの代表曲に、松任谷由実の「飛行機雲」を挟み込むという絶妙なセットリストと情熱的な歌声で、BAR STAGEを自らの色に染め上げた。

メインフロアの3番手を務めたのは、テスラは泣かない。バンドの武器である扇動的なピアノリフを軸に、洗練さと衝動を兼ね備えたアンサンブルと歌の妙味でオーディエンスをロックした。特にバンドのキラーチューンである「アンダーソン」とラストの「梵」で生んだ一体感忘れがたいものがあった。

トリを飾ったキュウソネコカミは、人懐っこい毒とユーモアとポップセンスにまみれた楽曲と関西弁でまくしたてるMCを、唯一無比のエンターテイメントに昇華するライブをやったのけた。「DQNになりたい、40代で死にたい」における“ヤンキー怖い”のコール&レスポンスでフロアは爆発的な盛り上がりを見せ、メンバーが組体操でピラミッドを作ったところでステージの幕が閉じるという衝撃的なラストも最高だった。

なおこのイベントの様子は、10月26日(土)25:00～26:00の1時間、スペースシャワーTVにて特別番組としてオンエアされる。

Text by 三宅正一(ONBU)

◆SET LIST

SHISHAMO

- 1 僕に彼女ができたんだ
- 2 サブギターの歌
- 3 行きたくない
- 4 タオル(仮)
- 5 バンドマン
- 6 恋する

佐藤千明、津野米咲(赤い公園)

- 1 ナンバーシックス
- 2 つぶ
- 3 のぞき穴
- 4 Mat Blue

ircle

- 1 呼吸を忘れて
- 2 バタフライ
- 3 シャバダハ
- 4 嘘つき少年より
- 5 カゲロウと夏
- 6 本当の事

金廣真悟

(グッドモーニングアメリカ)

- 1 未来へのスパイラル
- 2 飛行機雲(松任谷由実カバー)
- 3 餞の詩

テスラは泣かない。

- 1 fuga
- 2 イムソン
- 3 my world is not yours
- 4 アンダーソン
- 5 cold girl lost fiction
- 6 Shake your hands saying good bye
- 7 梵

キュウソネコカミ

- 1 キュウソネコカミ
- 2 サブカル女子
- 3 テレキャスばっか
- 4 DQNになりたい、40代で死にたい
- 5 キャベツ
- 6 お願いシェンロン
- 7 ファントムヴァイブレーション

<本件に関するお問い合わせ先>

株式会社スペースシャワーネットワーク コンテンツプロモーション部
 TEL:03-3585-3544 FAX:03-3585-3215 <http://www.spaceshowertv.com/>
 担当:小林 郁詠 080-6627-2313 ikobayashi@spaceshower.net